

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月29日

計画の名称	岡山県地域住宅等整備計画												
計画の期間	令和03年度～令和07年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岡山県												
計画の目標	「誰もが明るい笑顔で暮らせる住生活の実現」を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	319	A	309	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	3.13	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R7
1	バリアフリー化した県営住宅			
	バリアフリー化(高齢者・障害者等対応)した県営住宅の割合 (バリアフリー化した住宅戸数) / (管理戸数) R3:1088/6820戸 R7:1088/6704戸	160%	%	162%
2	県営住宅の長寿命化の実施割合			
	県営住宅の長寿命化のため電源改修工事を実施したものの割合 (改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) R3:915/955戸 R7:955/955戸	958%	%	1000%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	—	—	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	県営住宅の電源改修 40戸等	岡山市		■	■	■	■	139	—	策定済	
	A15-002	住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	—	—	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等）	住宅新築資金等貸付助成事業	県内全域	■	■	■	■	■	170	—	—	
											小計							309		
											合計							309		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	—	—	公営住宅の改善に係る設計・監理等事業	電源改修工事の工事監理	岡山市			■				1	—	—
	公営住宅の改善に係る設計・監理等事業を行うことにより、ストック改善事業を円滑にすすめる。																			
	C15-002	住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	—	—	岡山県住生活基本計画策定支援事業	住生活基本計画改定の支援業務	県内全域			■				9	—	—
	住生活に関する基本的な計画を改定し、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策を推進する。																			
											小計							10		
											合計							10		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	21.703	26.307			
計画別流用増△減額 (b)	0.000	△ 0.146			
交付額 (c=a+b)	21.703	26.161			
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000			
支払済額 (e)	21.703	24.101			
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000			
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	2.060			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0.0%	7.9%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県地域住宅等整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ★①計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ★④関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 ⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	○
III. 計画の実現可能性 ★①事業熟度が十分である。	○

